○南丹市上下水道事業審議会条例

平成18年1月1日
条例第216号

(趣旨)

第1条 この条例は、水道事業及び下水道事業(以下「上下水道事業」という。)の円滑な推進と健全な運営を図るため[地方公営企業法\(昭和27年法律第292号\)第14条](#)の規定に基づき南丹市上下水道事業審議会(以下「審議会」という。)を設置し、その審議会組織及び運営その他必要な事項を定めるものとする。

(担任する事項)

第2条 審議会は、上下水道事業の推進その他必要な事項について上下水道事業の管理者の権限を行う市長(以下「管理者」という。)の諮問に応じ調査し、又は審議する。

2 審議会は、[前項](#)に基づく答申に付随して、担任する事項の範囲内において建議することができる。

(組織)

第3条 審議会は、会長、副会長及び委員若干人で組織する。

2 会長は、委員の互選によって選出する。

3 副会長は、会長が審議会の審議に諮って委員のうちから選出する。

4 委員は、団体役員その他学識経験者の中から管理者が委嘱する。

第4条 委員の任期は、1年とする。ただし、特別の事由があるときは、任期の途中で解職することができる。

第5条 委員が欠けた場合で、管理者が必要と認めるときは委員を補充委嘱することができる。補充された委員の任期は、前任者の残存期間とする。

(運営)

第6条 会長は、審議会を総理し、会議の議長を兼ねる。

第7条 会長は、審議会の会議を開く日から少なくとも3日前までに招集及び会議の事項を委員に通知しなければならない。ただし、急を要する場合は、この限りでない。

第8条 審議会の会議は、委員の総数の過半数が出席しなければ開くことができない。

第9条 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第10条 会長に事故があるときは、副会長がその職務を代行する。

(委任)

第11条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、管理者が別に定める。

附 則

この条例は、平成18年1月1日から施行する。

附 則(平成30年12月25日条例第35号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例により改正した南丹市の森林を考える会条例、南丹市建設事業等執行審議会条例、南丹市水道審議会条例、南丹市総合振興計画審議会条例、南丹市医療対策審議会条例、南丹市公有財産の活用及び処分等に関する検討委員会条例、南丹市農業振興推進協議会条例、南丹市公共事業再評価審査委員会条例及び南丹市消防委員会条例の規定は、この条例の施行の日以後に委嘱又は任命される委員について適用し、同日前に委嘱又は任命された委員については、なお従前の例による。

附 則(令和元年12月23日条例第28号)

この条例は、令和2年4月1日から施行する。